



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社フジオフードグループ本社

上場取引所 東

コード番号 2752 URL <https://fujigroup.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長

(氏名) 田中 公博 TEL 06-6360-0304

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	8,106	2.2	277	△26.0	269	△17.5	197	△8.1
2025年12月期第1四半期	7,935	1.1	375	△15.7	326	△25.8	215	△43.8

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 238百万円 (9.5%) 2025年12月期第1四半期 217百万円 (△48.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	3.86	-
2025年12月期第1四半期	4.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	23,934	8,769	36.6
2025年12月期	24,429	8,685	35.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 8,763百万円 2025年12月期 8,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	-	0.00	-	3.00	3.00
2026年12月期	-	-	-	-	-
2026年12月期(予想)	-	0.00	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,156	3.1	210	△15.6	179	11.1	69	430.6	1.35
通期	32,653	2.3	510	△29.7	445	△25.2	110	22.3	2.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	51,267,537株	2025年12月期	51,267,537株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	74株	2025年12月期	74株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	51,267,463株	2025年12月期1Q	51,241,847株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、アメリカの通商政策の動向や地政学リスクの高まり、物価上昇による消費者マインドの低下等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、賃上げによる所得増加や外国人観光客の増加によるインバウンド需要の拡大等により外食需要は回復しつつあるものの、食材やエネルギー価格、人件費の上昇等による厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」を中心とした既存中核業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高81億6百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益2億77百万円（前年同期比26.0%減）、経常利益2億69百万円（前年同期比17.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億97百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<直営事業>

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「麺乃庄 つるまる」、「さち福や」、「天麩羅 えびのや」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のABC分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発を行いました。また、季節フェアキャンペーンの推進、既存店舗の美装改装、SNSやメディアを活用したブランド認知度の向上等による集客力向上施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は77億38百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は7億32百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

<FC事業>

FC事業におきましては、加盟企業様及び社員独立による営業委託者様とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出しとその解消を図り、さらなる集客と売上の向上を目指しております。

当事業では、フランチャイズ加盟開発の強化、現在の環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。

また、更なる事業規模拡大に向け、直営店の売却や営業委託を積極的に進め、ストック型のビジネスモデルへの転換を図ってまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は3億68百万円（前年同期比9.7%減）、セグメント利益は2億70百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

当社グループの2026年3月末時点の店舗数は696店舗（直営店（国内）392店舗、直営店（海外）5店舗、委託店（国内）77店舗、F C店（国内）202店舗、F C店（海外）20店舗）となりました。

ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 （国内）	直営店 （海外）	委託店 （国内）	F C店 （国内）	F C店 （海外）	合計
まいどおおきに食堂	81	2	25	155	7	270
神楽食堂 串家物語	72	-	4	23	2	101
麺乃庄 つるまる	30	-	15	9	8	62
さち福や	34	-	2	6	2	44
天麩羅 えびのや	28	3	2	3	1	37
その他	147	-	29	6	-	182
合計	392	5	77	202	20	696

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は4億95百万円減少し、239億34百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から6億87百万円減少し、固定資産は1億92百万円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、現金及び預金の減少7億3百万円、預け金の減少2億4百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は建物及び構築物（純額）の増加49百万円、工具、器具及び備品（純額）の増加41百万円、建設仮勘定の増加58百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して5億79百万円減少し、151億64百万円となりました。これは主に借入金の返済による減少5億27百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い等により、前連結会計年度末と比較して83百万円増加し、87億69百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,981	7,277
売掛金	655	720
棚卸資産	196	169
前払費用	262	268
未収入金	200	173
信託受益権	2,700	2,700
預け金	1,353	1,149
その他	103	305
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,450	12,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,510	3,560
工具、器具及び備品（純額）	290	331
土地	740	740
建設仮勘定	58	117
その他（純額）	69	64
有形固定資産合計	4,669	4,813
無形固定資産		
のれん	1,171	1,147
その他	53	76
無形固定資産合計	1,225	1,223
投資その他の資産		
投資有価証券	417	465
関係会社株式	160	161
繰延税金資産	35	28
敷金及び保証金	3,441	3,459
その他	1,220	1,218
貸倒引当金	△190	△198
投資その他の資産合計	5,085	5,134
固定資産合計	10,979	11,171
資産合計	24,429	23,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,611	1,621
1年内返済予定の長期借入金	3,570	3,490
未払金	1,480	1,505
未払費用	612	523
未払法人税等	87	51
未払消費税等	208	298
株主優待引当金	500	449
賞与引当金	3	-
資産除去債務	22	8
その他	383	397
流動負債合計	8,483	8,345
固定負債		
長期借入金	5,200	4,753
リース債務	64	56
資産除去債務	1,082	1,091
預り保証金	222	218
繰延税金負債	173	184
持分法適用に伴う負債	492	492
債務保証損失引当金	18	11
その他	5	9
固定負債合計	7,261	6,819
負債合計	15,744	15,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,971	5,971
資本剰余金	5,149	5,149
利益剰余金	△2,636	△2,592
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,484	8,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	140
為替換算調整勘定	87	94
その他の包括利益累計額合計	194	234
非支配株主持分	6	6
純資産合計	8,685	8,769
負債純資産合計	24,429	23,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	7,935	8,106
売上原価	2,836	2,930
売上総利益	5,098	5,176
販売費及び一般管理費	4,723	4,898
営業利益	375	277
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	0	5
持分法による投資利益	0	0
債務保証損失引当金戻入額	-	6
その他	16	19
営業外収益合計	19	38
営業外費用		
支払利息	52	32
貸倒引当金繰入額	-	9
支払手数料	3	-
その他	12	5
営業外費用合計	68	46
経常利益	326	269
特別損失		
店舗解約損	5	9
固定資産除却損	0	0
減損損失	70	-
特別損失合計	76	9
税金等調整前四半期純利益	249	259
法人税等	34	62
四半期純利益	215	197
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	215	197

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	215	197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	33
為替換算調整勘定	△11	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	2	40
四半期包括利益	217	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217	238
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	130百万円	137百万円
のれんの償却額	24百万円	24百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	1,235	-	1,235	-	1,235
神楽食堂 串家物語	1,948	-	1,948	-	1,948
麵乃庄 つるまる	400	-	400	-	400
さち福や	808	-	808	-	808
天麩羅 えびのや	530	-	530	-	530
その他	2,603	-	2,603	-	2,603
F C加盟金売上	-	48	48	-	48
F Cロイヤリティ売上	-	182	182	-	182
F Cインシヤル売上	-	29	29	-	29
F Cランニング売上	-	146	146	-	146
顧客との契約から生じる収益	7,527	407	7,935	-	7,935
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,527	407	7,935	-	7,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,527	407	7,935	-	7,935
セグメント利益	788	286	1,075	△699	375

(注) 1. セグメント利益の調整額△699百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による70百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	1,301	-	1,301	-	1,301
神楽食堂 串家物語	2,148	-	2,148	-	2,148
麺乃庄 つるまる	389	-	389	-	389
さち福や	839	-	839	-	839
天麩羅 えびのや	452	-	452	-	452
その他	2,605	-	2,605	-	2,605
F C加盟金売上	-	40	40	-	40
F Cロイヤリティ売上	-	183	183	-	183
F Cイニシャル売上	-	23	23	-	23
F Cランニング売上	-	121	121	-	121
顧客との契約から生じる収益	7,738	368	8,106	-	8,106
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,738	368	8,106	-	8,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,738	368	8,106	-	8,106
セグメント利益	732	270	1,002	△724	277

(注) 1. セグメント利益の調整額△724百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。